

## 商店街名:刈谷市刈谷駅前商店街振興組合

### ●キャッチコピー

みんなで まち興し！！

### ●活性化モデル商店街としてのモデル性

都心交流エリアを「飲食街&健全な歓楽街」という昼も夜も楽しめる交流型拠点とすべく「まちづくり会社」を設立し、様々な主体が連携して各種事業に取り組む。

## ◎商店街の将来ビジョン

刈谷駅周辺を中心商業地は、活気を呈してきたが、バブル崩壊後、近年のリーマンショックの影響を受け、なかなかV字回復できない状況が続いているなかで、刈谷駅周辺地域(都心交流エリア)では刈谷駅前商店街振興組合を主体として、刈谷らしさを十二分に発揮できる事業を生み出してきた。しかし、環境問題への取り組みの遅れや事務の複雑化といった様々な課題が浮き彫りになり、また、商店街活動が単に商店街振興の目的だけでなくイベント事業へ傾注したことにより、まちづくり活動への人材確保が難しい状況も露呈し、商店街とは別の新たな組織(まちづくり会社)の設立が望まれるようになった。

今後の中心市街地活性化施策として、活動母体となる「まちづくり会社」の設立に向けた活動を展開し、官民連携を強化することにより、都市再生の推進はもとより、新たな魅力やにぎわいの創出により、中心市街地のまちづくりを一層進展する。

- 1 都市再生特別措置法第74条の規定による推進法人の業務の全部又は一部を適正かつ確実に行うために必要な組織体制や人員体制及び必要な経費を賄うことができる経済的基礎を有する組織の設立。
- 2 環境対策や事業実施の効率化
- 3 行政をはじめとする多様な主体との連携強化

## ◎具体的に取組む主な事業内容

### ○産・学・官連携強化事業(24年度)

産・学・官の連携強化のために、アクアモールイルミネーション作品制作の負担を軽減し、事業の安定的継続と市民等の参加促進を図る。

### ○情報誌「あくあ」発行事業(24年度～27年度)

地域情報誌「あくあ」を発行する。読者からの意見、要望を取り入れ、より地域に根ざした情報を提供する。

### ○コミュニティ醸成事業(24年度～27年度)

スペースAquaの利用促進を図るとともに、市民のニーズに合った講座を開催する。

### ○イベント参加者の利便性増進事業(25年度～27年度)

チケット制のカリアンナイト等のイベント事業実施において、チケット購入の機会を創出する。

### ○都心交流エリアにおける活性化中期計画の策定に向けた調査研究(25年度～26年度)

様々な都市データの収集、分析による課題整理、国などの政策動向の研究、各種データ分析から抽出した課題に対応した、今後5ヵ年程度の事業計画を策定